

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(1999.3.1 ~ 3.31)

人事(3月31日付)

退任 運営委員	嶺 学
	二村 一夫
	五味 健吉
退職 教授(専任研究員)	二村 一夫
資料・庶務主任	御子柴啓子

刊行物(研究所叢書)

『土地と自由』(4)

『大原社会問題研究所雑誌』485号(1999年4月号)

『新着図書目録』191号(1999年3月1日発行)

図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	121	27	148
受 贈	99	0	99
合 計	220	27	247

閲覧サービス

閲覧

開館日数	26日
閲覧人員	24名
貸出図書	28冊

コピーサービス

学 外	19件	1459枚
学 内	6件	42枚

## 日 誌

- 2日 二部法学部,文学部入試  
『日本の労働組合100年』第10回編集会議  
竹田誠氏より「日航労使関係資料」受贈  
(段ボール4箱)
- 3日 二部経済学部,社会学部入試
- 9日 私立大学図書館協会レファレンス分科会  
(於:和洋女子大学,出席・遊座圭子)

- 10日 『日本労働年鑑』編集会議  
O I S R 第1回オフ会議
- 13日 加齢過程における福祉研究会  
報告者 小松 真(日本プライマリ・ケア  
学会副会長,小松医院院長)  
テーマ 「プライマリ・ケアと地域医療」
- 16日 多摩キャンパス退職者送別会  
『日本労働年鑑』編集会議
- 17日 第11回運営委員会  
議題 諸報告  
人事について  
運営委員  
嘱託研究員  
その他  
専任研究員の「採用身分および教授昇  
格基準」について  
その他  
退職者送別会(二村一夫・嶺学・御子柴啓子  
の3氏)
- 18日 公文溥氏より「鉄鋼関連組合」の大会資料受  
贈(段ボール1箱)
- 23日 事務会議
- 24日 D B概略説明会  
『日本労働年鑑』編集会議  
O I S R 第2回オフ会議
- 30日 『日本労働年鑑』編集会議
- 31日 第10回研究員会議  
談話会  
話し手 二村一夫  
テーマ 「大原社会問題研究所を去るにあ  
たって」

大原社会問題研究所雑誌 No.488(1999年7月号)  
1999年7月25日発行  
定価1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集人 早川征一郎  
発行人 法政大学大原社会問題研究所  
所長 早川征一郎  
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342  
電話 042(783)2307

## 投稿募集

本誌は社会問題・労働問題に対する論文，調査報告，書評を広く募集しています。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投稿規定

1. 原稿は，ワープロ原稿による未発表のものに限ります。
2. 論文の長さについては，400字詰原稿用紙50枚程度が望ましい（図表を含む）。
3. 本誌に初めて投稿する場合には，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
4. 編集委員会で審査のうえ，採否をご連絡します。
5. 原稿2部を下記まで送付してください。  
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論文執筆要領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則  
横書きとする。  
タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。  
原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。  
注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。  
図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式  
日本語の図書・論文の場合  
A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。  
（例）法政大学大原社会問題研究所編『《連合時代》の労働運動』総合労働研究所，1992年，10頁。  
B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「他」の方式も可とする。  
C. 論文については，執筆者名，論文名（「」で囲む），掲載雑誌名（『』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。  
（例）加藤譲治「ポストモダニズムと労働組合」『大原社会問題研究所雑誌』404号，1992年7月。  
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。  
欧文の図書・論文の場合  
A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。  
B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。  
C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。  
D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上